ESL-ST100(BK)

取扱説明書
保証書付

100Wハロゲン
スタイリッシュセンサーライト

STYLISH SENSOR LIGHT

お客様へのお願い

■このたびはセンサーライトをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書欄は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ずお確かめください。

もくじ

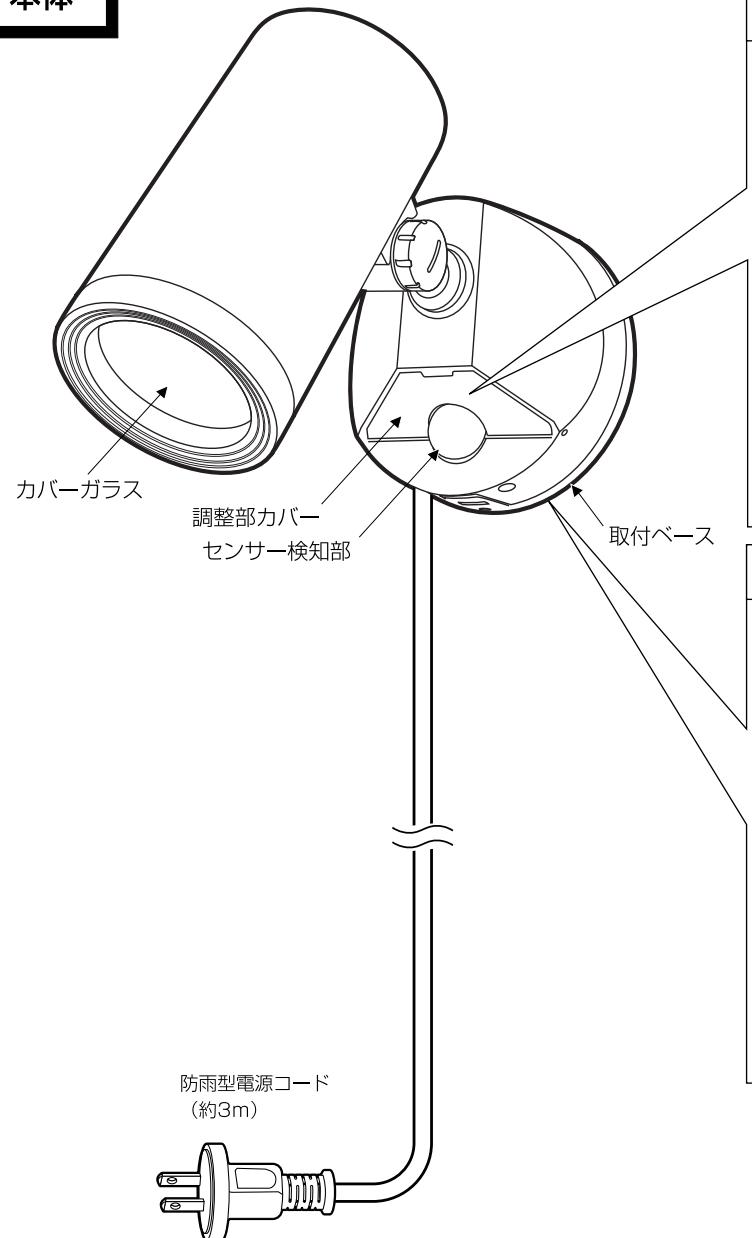
1 安全に関するご注意

⚠ 警告

●取り付けは、この取扱説明書に従って確実におこなってください。
●点灯中や消灯直後はランプやその周囲が過熱しており、やけどの原因となりますので器具にさわらないでください。
●布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。
●本体に布団や洗濯物等がかぶさると昼でもライトが点灯し火災の原因となることがあります。センサーライトの周囲では布団や洗濯物を干さないでください。
●屋外のコンセントは防雨型を使用し、電源プラグは防雨コンセントに直接差し込んでください。コードの延長が必要な場合は、必ず防雨型の延長コードをご使用ください。
●本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、防水タイプではありませんので大量の水がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用しないでください。
※防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について認可を受けた規格です。
●正面から見て本体が地面に対して斜めになったり逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたしたり、雨水が入り故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
●容易に手を触れる事ができる2m以下の場所には取り付けないでください。
●感電の恐れがありますので、濡れた手でコンセントの抜き差しをおこなわないでください。
●本体にホコリや水滴が入ると漏電･火災･故障の原因となるため、ご使用時は必ずカバーガラスをつけてください。
●電源コードの上に物を載せたり、ステップルを打ち込まないでください。またコードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。通電しなくなったり、コードが断線しショート･感電･火災･故障の原因となります。
●電源プラグを差し込んだままにすると、たまったホコリにより火災に至る恐れがあります。定期的にプラグを抜き、乾いた布でホコリを取り除いてください。また長期間ご使用されない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
●異常を感じたときは速やかにコンセントから電源プラグを抜いてください。煙が出たり、変なにおいがしたままの状態で使用すると火災や感電の原因となります。速やかに販売店もしくは当社まで修理をご依頼ください。
●電源線と直接つなぐ場合は、必ず電源を切るための壁スイッチ等を設けてください。
※ランプ交換や漏電･停電後等の再調節の際に電源を切る必要があるため。
●改造したり分解しないでください。器具の落下･感電･火災の原因となります。

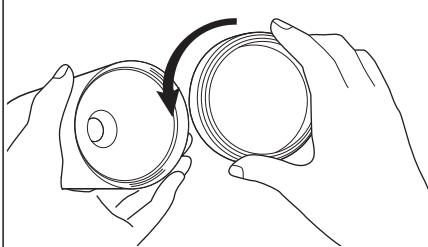
⚠ 注意

●本品は人を検知しライトの点灯やフラッシュで警告する機能を持っていますが、侵入･盗難を確実に阻止する商品ではありません。発生した損害につきましては責任を負いかねますので予めご了承ください。
●天井面から10cm以上離して取り付けてください。
●電動シャッター等の電波を利用する機器の近くには取り付けないでください。
※本機や電波機器に動作の支障をきたすことがあります。
●温度の高くなるもの（ガス機器やその排気口など）の上に取り付けないでください。
●調光機能が付いた壁スイッチなどとの併用はしないでください。
●交流100V以外では使用しないでください。過電圧を加えると加熱し、火災･感電の恐れがあります。
●検知部が汚れると感度が鈍くなりますので、柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を布に含ませ固く絞ってから拭いてください。ベンジンやアルコール、シンナーを使用すると変色、変形、ひび割れする恐れがあるので避けてください。
●本品は改良のため、予告なく仕様変更する場合があります。
●万一、当社の製造上の原因による品質不良、不具合が発生した場合は新しい商品とお取替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

2 各部の名称と付属品 ※実際の製品とイラストで多少異なる場合があります。

3 取り付け

ランプの取り付け

ランプ交換時もこの手順で行ってください。

①カバーガラスを反時計回りにまわしてはずします。

②ハロゲンランプをソケットに確実に差し込んでください。

注意…ランプを直接手で触ると早期電球切れの原因となりますので、付属のスポンジで包むか手袋をはめて作業をおこなってください。

③カバーガラスを時計回りにまわして装着します。

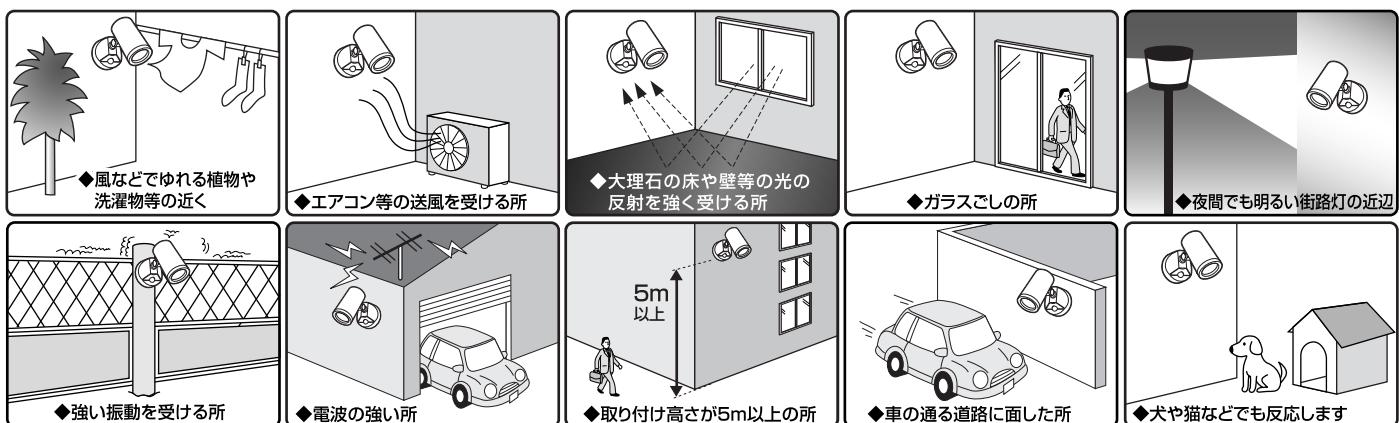
⚠ ランプ取り付け、またはランプ交換の際は、必ず電源プラグを電源（コンセント）から抜いてください。

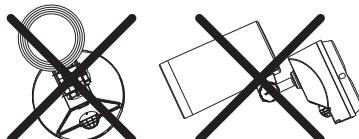
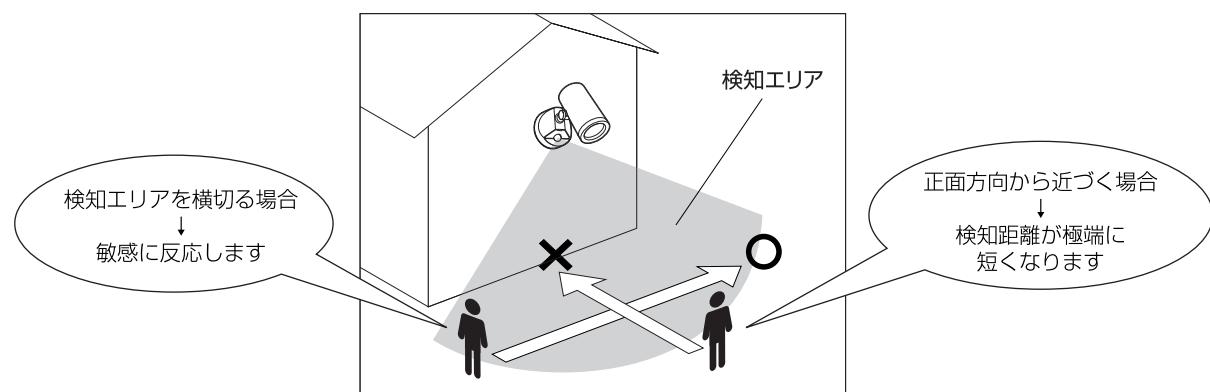
⚠ やけど防止のため、電源プラグを抜き、ライト全体が冷めてから作業を行ってください。
電球交換の際は必ず指定の電球（J110V100W G6.35）を取り付けてください。
交換球は弊社型番 G-1183Bをお薦めいたします。

※使用済みのランプは自治体の定める区分に従って処理をしてください。

取り付け場所について

●次のような場所には取り付けないでください。

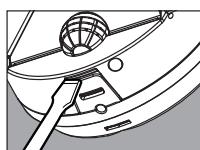
センサーは周囲の明るさと温度変化を検知するので、下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。

⚠ 注意　容易に手を触れる事ができる2m以下の場所には取り付けないでください。

●内部に水が入り故障の原因となりますのでセンサーライト本体は、必ず地面と水平に設置してください。

●本品に使用している赤外線受動式センサーの特性上、検知エリアを横切る場合は敏感に反応致しますが、センサーに向かって正面方向から近づく場合は検知距離が極端に短くなります。
センサーライトの取り付け場所は、下図イラストのように検知エリアを横切って点灯する場所を選んで設置してください。

本体の取り付け方法

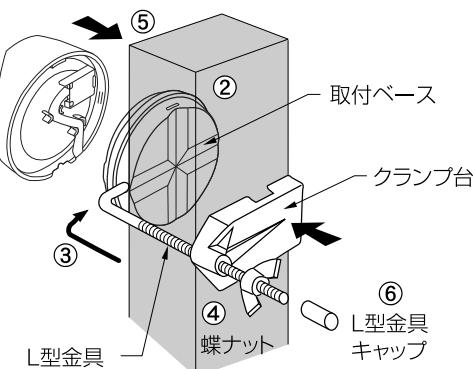
⚠ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

クランプでの取り付け

最小約15mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

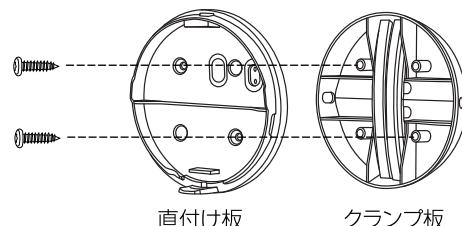
①本体から取付ベースを外します。

取付ベース下部

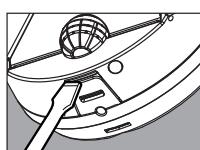
※マイナスドライバー等を差し込んで外してください。

②取り付ける柱や柵に取付ベースをあてます。
③取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差込みます。
④L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
⑤本体上部の凸部を取付ベースの凹部分に合わせ、本体をはめ込みます。
⑥L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。

■上（下）方向から挟む場合

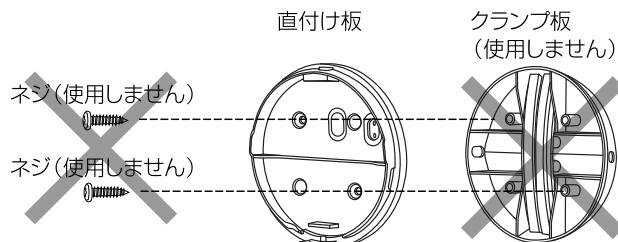
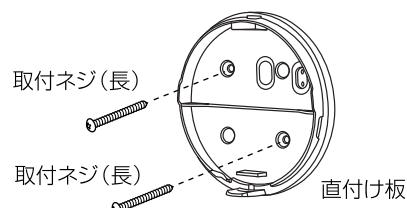
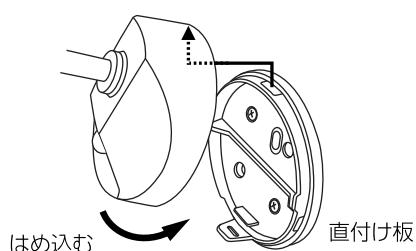
お買い上げ時、取付ベースは横方向から挟む形状になっておりますので、上（下）方向に挟んで取り付ける場合には下記手順で変更しご使用ください。

①取付ベースのネジ（2本）をゆるめて外し、直付け板とクランプ板を分離させます。

②クランプ板を90°回転させ、元通りに組み立てます。（L型金具を通す穴が上下方向になります。）

ネジでの取り付け

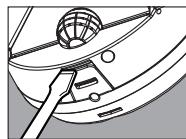
①本体から取付ベースを外します。

取付ベース下部

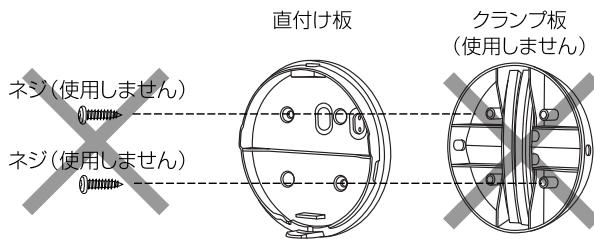
※マイナスドライバー等を差し込んで外してください。

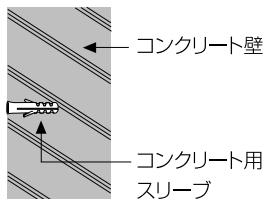
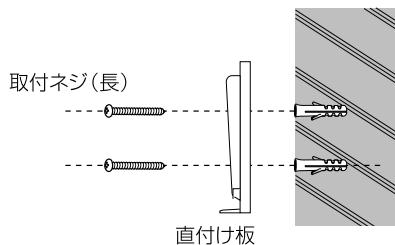
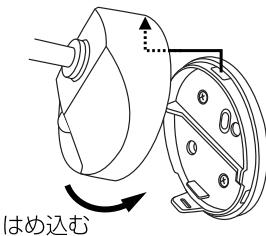
②取付ベースのネジ（2本）をゆるめて外し、直付け板とクランプ板を分離させます。
※ネジで取り付ける場合、クランプ板は使用しません。

③直付け板を壁面にあて、付属の取付ネジ（長）で固定します。

④本体の凸部を直付け板の凹部に合わせて固定します。

本体の取り付け方法

⚠ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

コンクリート壁への取り付け

①本体から取付ベースを外します。

※マイナスドライバー等を差し込んで外してください。

②取付ベースのネジ（2本）をゆるめて外し、直付け板とクランプ板を分離させます。
※ネジで取り付ける場合、クランプ板は使用しません。

③直付け板を取り付ける壁面にあて、穴を開ける位置に印をつけます。

④印をつけた位置に電動ドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開けます。そこへ付属のコンクリート用スリーブを差し込み、金づち等で軽く叩き面を合わせます。

⑤コンクリート用スリーブに合わせ付属の取付ネジ（長）を差し込み、直付け板を固定します。

⑥本体の凸部を直付け板の凹部に合わせて固定します。

別売ステンレスバンドによる取り付け
（弊社型番ESL-SB）

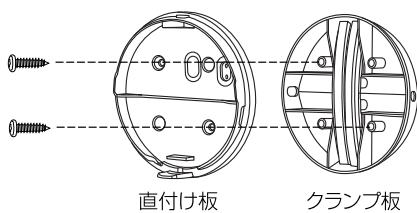
（直径約260mmまで取り付け可能）

⚠ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

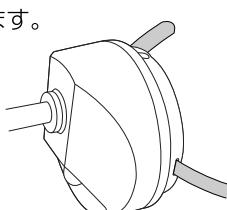
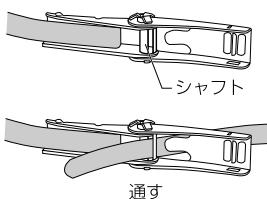
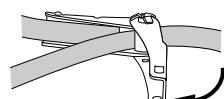
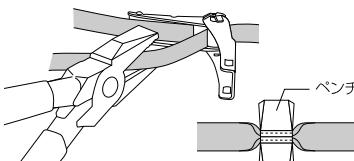
■ステンレスバンドを横方向に通す場合

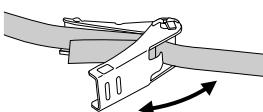
お買い上げ時、取付ベースのステンレスバンドを通す穴は縦方向になっておりますので、横方向に通して使用する場合は下記手順で変更しご使用ください。

①取付ベースのネジ（2本）をゆるめて外し、直付け板とクランプ板を分離させます。

②クランプ板を90°回転させ、元通りに組み立てます。
（ステンレスバンドを通す穴が横方向になります。）

①本体から取付ベースを外します。

※マイナスドライバー等を差し込んで外してください。

②取付ベースのステンレスバンド通し穴（2箇所）にステンレスバンドを通します。

③バンドを取付箇所（ポールなど）に巻付け、先端をシャフトの間（シャフトは2枚構成）に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

④バンドを適当に張り、ハンドルを90°起こして仮止めします。

⑤仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。ベルト端末は外に出ません。

※図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。

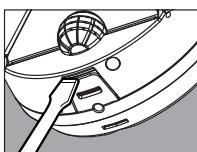
⑥ハンドルを反復回転させる（ラチェット機構なのでバンドを巻取る）とベルトはゆるむことなく十分に締まります。

⑦バンドが十分に締まったところでハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

電源直結工事説明 ※電気工事士の資格が必要

お客様へ	●電源直結工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店に依頼してください。
工事店様へ	●施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。

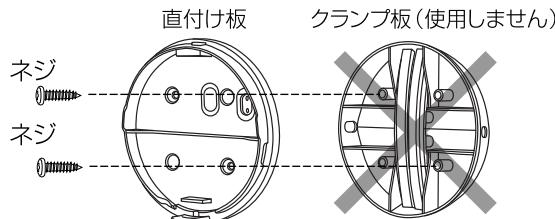
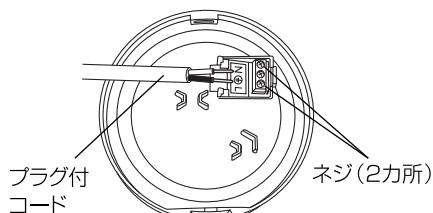
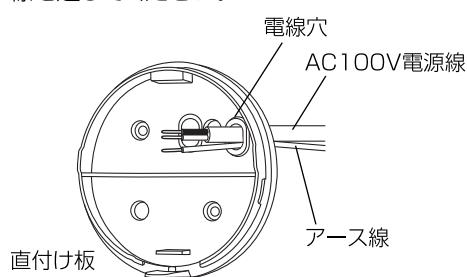
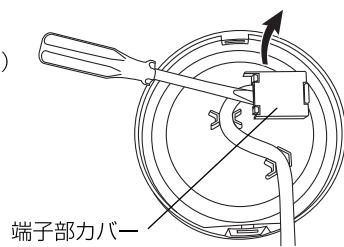
配線についてのご注意

●ランプ交換や漏電・停電後等の再調節の際に電源を切る必要があるため、必ず電源を切るための壁スイッチ等を設けてください。
●必ずアースを取り付けてください。アースが不完全な場合は感電の原因となります。（アースは法によりD種接地工事が必要です。）
●調光器と組み合わせて使用しないでください。
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。

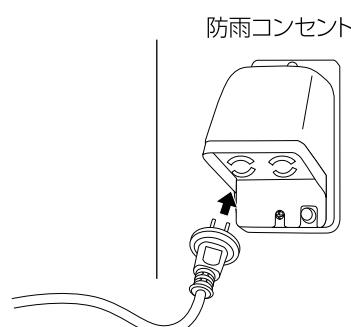
①本体から取付ベースを外します。

取付ベース下部

※マイナスドライバー等を差し込んで外してください。

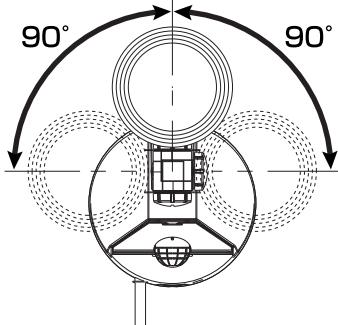
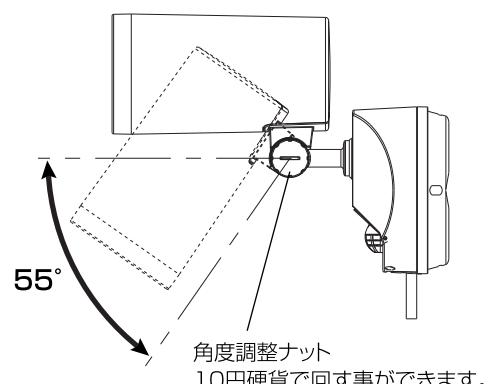
②取付ベースのネジ（2本）をゆるめて外し、直付け板とクランプ板を分離させます。
※ネジで取り付ける場合、クランプ板は使用しません。

③本体裏面の端子部カバーをドライバー等でこじ開けます。

④端子台のネジ（2ヶ所）をゆるめ、プラグ付コードを取り外します。
※プラグ付コードは使用しません。

⑤直付け板の電線穴にAC100V電源線とアース線を通してください。

⑥AC100V電源線およびアース線の被ふくをむき、端子台に結線してください。

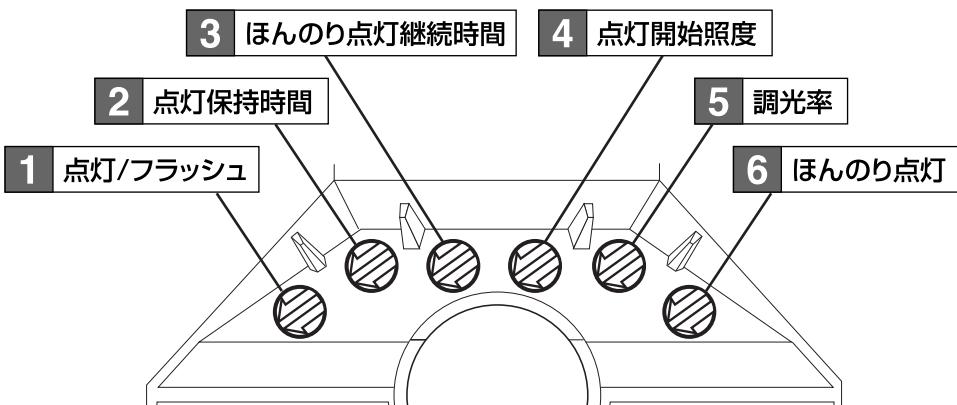
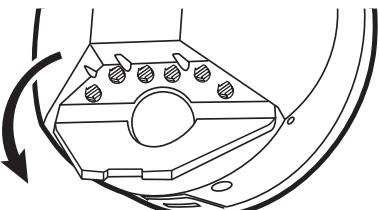
4 配線について

※屋外のコンセントは防雨型を使用し、電源プラグは防雨コンセントに直接差し込んでください。
延長コードが必要な場合は必ず防雨型の延長コードをご使用ください。

屋外用防雨型延長コードは
弊社型番 CP-B03(3m) CP-B05(5m)
CP-B10(10m) CP-B20(20m)
CP-B30(30m) をお薦めいたします。

5 ライト部の角度調節

●ライト部は下図の角度範囲で動かすことができます。上下方向の角度を変更する際は、必ず角度調整ナットを緩めゆっくりと動かしてください。調整後は角度調整ナットを締めて固定してください。

⚠注意
●点灯中および消灯直後はランプおよび器具が高温になっておりますので手を触れないでください。やけどの原因となります。
●可動範囲以上に動かさないでください。破損・感電・火災の原因となります。

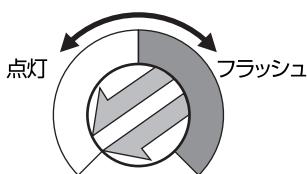
6 各種点灯設定

●調整部カバーを
開けてください

※各ボリュームの調整にはマイナスドライバーを使用します。

1 点灯/フラッシュの切り替え

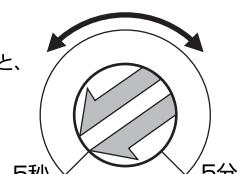
ライトの点灯かフラッシュ（点滅）をお好みで選択します。

「点灯」
…センサーが検知すると点灯します。

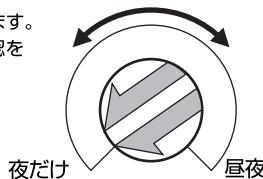
「フラッシュ」
…センサーが検知するとフラッシュします。

2 点灯保持時間の設定

人が検知エリアから出て消灯するまでの時間を設定します。

●約5秒～約5分の間で任意の時間を設定できます。
●最後に検知してからの点灯保持時間です。
→センサーの検知エリア内で人や動物が動き続けると、センサーが検知し続け点灯時間が延長されます。

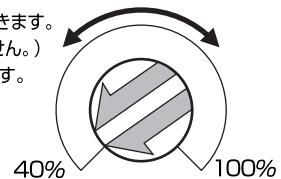
※フラッシュの場合も同様に設定されます。

4 点灯開始照度の設定

ライトが点灯を開始する時間帯（周囲の明るさ）を設定します。

●「夜だけ」～「昼夜」（昼も点灯）を設定できます。
●センサーライトの設置時等、昼間に動作確認をしたい場合は「昼夜」に設定します。
●通常は「夜だけ」に設定します。
→点灯しない場合は、少し「昼夜」側に回してお試しください。

5 調光率の設定

ライトが点灯した際の明るさを調整します。

●「40%」～「100%」の間で任意の明るさを設定できます。
（%の値は電圧の変化であり、実際の明るさではありません。）
●住宅密集地など、明るさを抑えたい場合に便利です。

※フラッシュの場合も同様に明るさが変化します。

3 6 ほんのり点灯に関する設定

ほんのり点灯について …暗くなると自動的にほんのりと点灯するのでポーチ灯代わりに使用することができます。

明るい間は消灯

暗くなると自動的に
ほんのりと点灯します

人が近づくとパッとフル
点灯します

人がいなくなると再び
ほんのり明るく点灯します

設定した時間が経過すると
ほんのり点灯が終了します。
（センサーに反応するとフル
点灯します。）

3 ほんのり点灯継続時間の設定

ほんのり点灯を開始してから消灯するまでの時間を設定します。

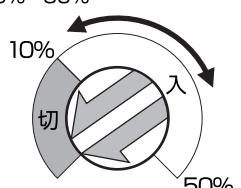
●約1時間～約14時間の間で任意の時間を設定できます。
●最長の14時間に設定した場合でも周囲が明るくなるとほんのり点灯は消灯します。

※1
ほんのり点灯は周囲が暗くなる事で動作が開始されるため、季節や天候によって開始/終了の時刻が前後致します。
※2
ほんのり点灯中に車のライトや他の照明器具によってセンサーライト周辺が明るくなった場合、ほんのり点灯の継続時間が設定した時間より長くなることがあります。

6 ほんのり点灯の設定

ほんのり点灯の入/切、ほんのり点灯の明るさを設定します。

●ほんのり点灯を使用する場合は「入」の範囲に設定します。
また、ほんのり点灯の明るさをフル点灯時の約10%～50%の間で任意の明るさに設定できます。
●ほんのり点灯を使用しない場合は「切」の範囲に設定します。

※ほんのり点灯中にジーという小さな音がすることがありますが故障ではありません。

7 動作確認

取付け終了後、次の①から③の要領で確認と各部の調整を行ってください。

①

点灯保持時間の設定を「5秒」にしてください。電源プラグをコンセントに差し込むとウォームアップ（初期安定動作）によりライトが約60秒間点灯します。
ライトが消えるまで検知エリアの外でお待ちください。

➡

②

ライトが消えたら検知エリアを横切るように歩き、ライトの点灯を確認してください。

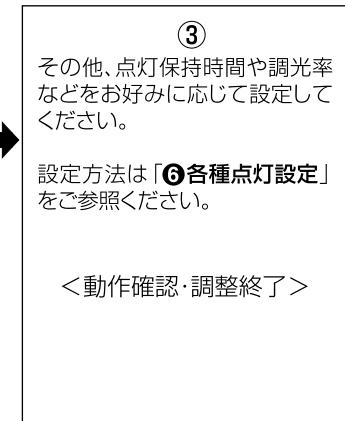
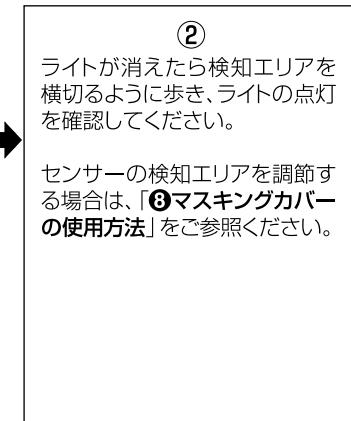
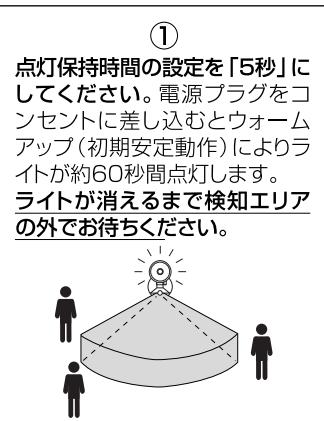
センサーの検知エリアを調節する場合は、「**❽マスキングカバーの使用方法**」をご参照ください。

➡

③

その他、点灯保持時間や調光率などをお好みに応じて設定してください。

設定方法は「**❻各種点灯設定**」をご参照ください。

＜動作確認・調整終了＞

ウォームアップ(初期安定動作)について

電源プラグをコンセントに差し込むと、点灯開始照度の設定に関わらずライトが約60秒間強制点灯します。（点灯保持時間5秒の場合）

これはセンサーが安定するまでの初期動作ですので故障ではありません。

8 マスキングカバーの使用方法（検知エリアの調節）

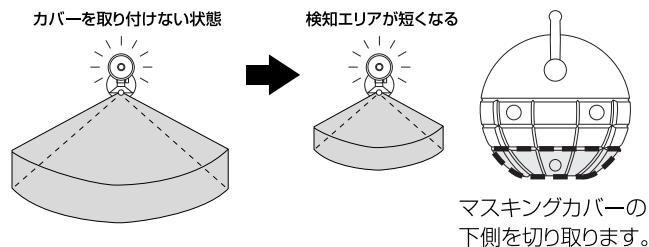
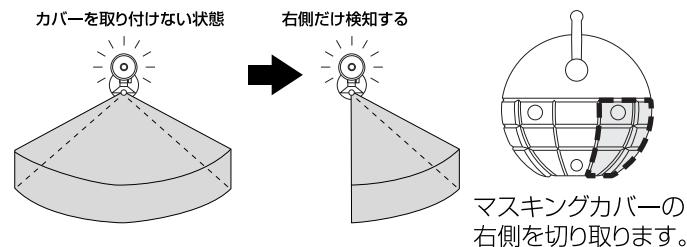
●**センサーの検知エリアを狭くしたい時はマスキングカバーを取り付けて調節します。** ※マスキングカバーは予備を含めて3個付属されております。

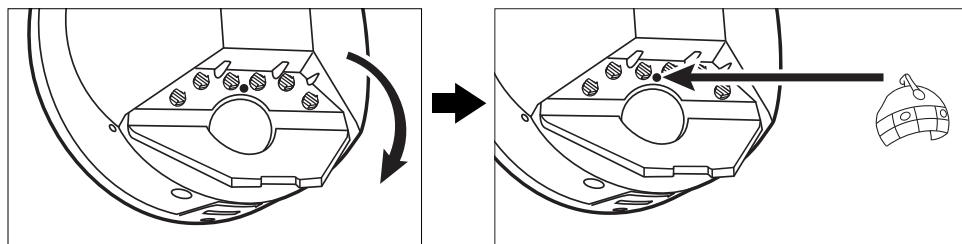
①マスキングカバーを取り付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。**センサーで検知させたい部分だけをニッパー等を使って切り取ります。**

＜例1＞センサーが検知する距離を短くする

マスキングカバーの下側を切り取ります。

＜例2＞片側だけを検知させる

マスキングカバーの右側を切り取ります。

②調整部カバーを開け、マスキングカバーを取り付けます。

調整部の中央にある凹部にカバーの凸部を差し込み取り付けます。

9 連続点灯の設定、解除について

●**電源プラグの抜き差しだけで強制的に連続点灯になる便利な機能です。**

①設定

「①コンセントから電源プラグを抜く」→「②再び差し込む」の動作を2秒以内におこないます。

➡

②

ライトが連続点灯になります。

➡

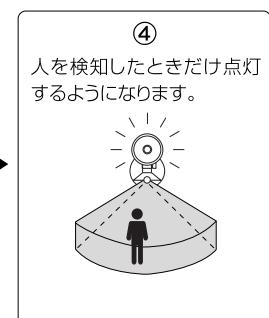
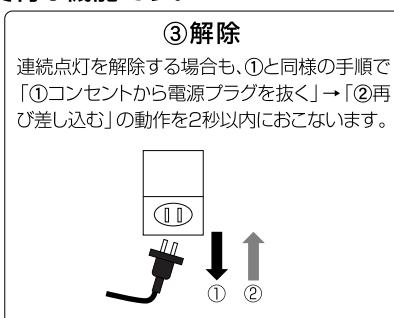
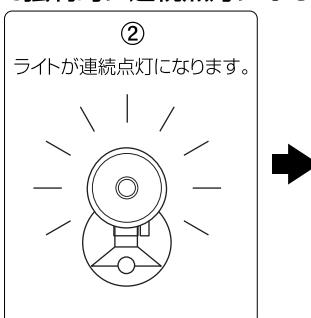
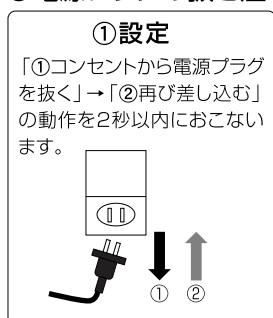
③解除

連続点灯を解除する場合も、①と同様の手順で「①コンセントから電源プラグを抜く」→「②再び差し込む」の動作を2秒以内におこないます。

① ②

➡

④

人を検知したときだけ点灯するようになります。

※1　連続点灯中でも周囲が明るくなると消灯し、連続点灯が解除されます。

※2　以下の場合は連続点灯になりません。
●電源プラグの抜き差し動作に2秒以上かかった場合。
●点灯開始照度」が「夜だけ」に設定されているが周囲が明るい場合。

⚠注意

「点灯開始照度」が「昼夜」に設定された状態で連続点灯にすると、解除の操作をしない限り点灯し続けてしまいます。必ず「夜だけ」に設定してください。

10 故障かなと思ったら

現　象	考えられる原因	対　応
ライトが点灯しない	センサーに向かって直進している ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります	センサーの検知エリアに対して、検知対象（人など）が横切るような場所へ取り付けてください
	周囲が明るい （周囲に他の照明器具がある）	点灯開始照度を「昼夜」側に調整してください 他の照明器具からの明かりが届かない場所へ取り付け場所を変更してください
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている 夏場など周囲の温度と人体の温度が近くなり、温度差が無い 非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入した	センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります
	検知エリアが遮られている	ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません 検知範囲の調整、もしくは取り付け場所の変更をしてください
	電球が正しく取り付けられていない	電球の取り付けをやり直してください。 注意 やけどをする危険がありますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。またハロゲン球に素手で触れると人体の脂等の影響により早期電球切れの原因となりますので、必ず手袋等をはめて取り付けてください
	電球が切れている	新しい電球に交換してください。 注意 やけどをする危険がありますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。またハロゲン球に素手で触れると人体の脂等の影響により早期電球切れの原因となりますので、必ず手袋等をはめて取り付けてください
ライトが点灯したまま消えない	電源投入直後のウォームアップ時間中 ※回路を安定動作させるため、電源投入直後はライトが約60秒間点灯したままになります	ウォームアップ時間が終了するまで、検知エリアの外に出て待機してください
	何らかの物体がセンサーに反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている	完全に検知エリアの外に出る、検知エリアを狭い範囲に調整する、取り付け場所を変更する等の対処をしてください
	「連続点灯」になっている	電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど経過してから再び電源プラグを差し込んでください ※約60秒間はライトが点灯しますが、その後消灯します
人がいないのに点灯する	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある （例） 他の照明器具の明かり、風で揺れるもの（植木、洗濯物、旗など）、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ 検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く、検知エリアを調整する、取り付け場所を変更する等の対処をしてください
	風や車両の通行等により、センサーライトを取り付けている柱などが振動している	振動の影響を受けない場所を選んで取り付けてください
昼間なのにライトが点灯してしまう	点灯開始照度の設定ボリュームが「昼夜」になっている	点灯開始照度の設定ボリュームを「夜だけ」側に調整してください
ライトが点滅してしまう	点灯/フラッシュの切り替えボリュームが「フラッシュ」になっている	点灯/フラッシュの切り替えボリュームを「点灯」側にしてください

処置をしても異常がある場合は、必ず電源を切り、販売店もしくは弊社までご相談ください。

ELPA 朝日電器株式会社

〒574-8585 大阪府大東市新田旭町4-10 http://www.elpa.co.jp/

お客様窓口　大阪 072(871)1166　東京 042(473)0159

11 仕 様

◆仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。

名称	100Wハロゲン スタイリッシュセンサーライト
品番	ESL-ST100（BK）
検知方式	赤外線受動式
電源電圧	AC100V　50/60Hz
消費電力	消灯時　1W　点灯時　101W
使用周囲温度範囲	−20℃ ～ 50℃
点灯保持時間	約5秒 ～ 約5分
耐水性能	IP44/直接雨のかかる屋外で使用可能
電源コード長	約3m
定格ランプ	J110V 100W G6.35（交換球型番 G-1183B）
重量 （コード、取付ベース含む）	826g
付属品	100Wハロゲンランプ1個、マスキングカバー3個、 取付ネジ（長）2本、コンクリート用スリーブ2本、 クランプ台1個、蝶ナット1個、L型金具1個、 L型金具キャップ1個

センサーの検知エリア図（目安）

平面図

120°

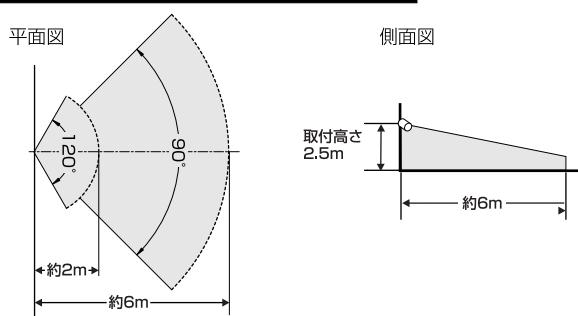
90°

約2m

約6m

側面図

取付高さ 2.5m

約6m

■検知エリアについて

●センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源（動物･車など）が移動した際も検知します。

●検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の取り付け高さなどにより変化します。

●検知エリアの外側でも人より大きな熱源などが移動した場合は検知する事があります。

●センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。

12 外形寸法図

AI070310A